

CASBEE-建築(新築)2016年版		■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版						
鳥取県西部総合事務所新棟・米子市役所能町庁舎		欄に数値またはコメントを記入		■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)				
スコアシート		実施設計段階						
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質								3.0
Q1 室内環境					0.40		-	2.8
1 音環境				3.0	0.15		-	3.0
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40		-	
1.2 遮音				3.0	0.40		-	
1 開口部遮音性能				3.0	0.60		-	
2 界壁遮音性能				3.0	0.40		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-		-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-		-	
1.3 吸音				3.0	0.20		-	
2 温熱環境				2.0	0.35		-	2.0
2.1 室温制御				3.0	0.50		-	
1 室温				3.0	0.38		-	
2 外皮性能				3.0	0.25		-	
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38		-	
2.2 湿度制御				1.0	0.20		-	
2.3 空調方式				1.0	0.30		-	
3 光・視環境				3.1	0.25		-	3.1
3.1 昼光利用				3.0	0.30		-	
1 昼光率				3.0	0.60		-	
2 方位別開口					-		-	
3 昼光利用設備				3.0	0.40		-	
3.2 グレア対策				3.0	0.30		-	
1 昼光制御				3.0	1.00		-	
3.3 照度		照度636 lx		4.0	0.15		-	
3.4 照明制御				3.0	0.25		-	
4 空気質環境				3.6	0.25		-	3.6
4.1 発生源対策				4.0	0.50		-	
1 化学汚染物質		全体的にF☆☆☆☆を採用		4.0	1.00		-	
4.2 換気				2.6	0.30		-	
1 換気量		建築基準法の1.4倍以上の換気量を確保		3.0	0.33		-	
2 自然換気性能		自然換気有効開口面積が居室床面積の1/30以上		4.0	0.33		-	
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.33		-	
4.3 運用管理				4.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50		-	
2 喫煙の制御		敷地内禁煙		5.0	0.50		-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.7
1 機能性				3.3	0.40		-	3.3
1.1 機能性・使いやすさ				3.3	0.40		-	
1 広さ・収納性				3.0	0.33		-	
2 高度情報通信設備対応				3.0	0.33		-	
3 バリアフリー計画		バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準(最低限のレベル)を満たしている		4.0	0.33		-	
1.2 心理性・快適性				3.3	0.30		-	
1 広さ感・景観		執務スペースの天井高が2.8m		4.0	0.33		-	
2 リフレッシュスペース				3.0	0.33		-	
3 内装計画				3.0	0.33		-	
1.3 維持管理				3.5	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計		評価する取り組みが6つ		4.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性				4.0	0.30		-	4.0
2.1 耐震・免震・制震・制振				4.6	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		建築基準法に定められた50%増の耐震性を有する		5.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水管にVLP、排水管にVPを使用		5.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20		-	
2.4 信頼性				3.6	0.20		-	
1 空調・換気設備				3.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20		-	
3 電気設備				3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法		耐震クラスS		5.0	0.20		-	
5 通信・情報設備		評価する取り組みが3つ		4.0	0.20		-	

3 対応性・更新性			4.0	0.30		-	4.0
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30		-	
1	階高のゆとり	階高が3.9m以上確保されている	5.0	0.60		-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率が0.157	4.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり		積載荷重が4500N/m ² 以上	5.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30		-	2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30		-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-		-	3.8
LR1 エネルギー			-	0.40		-	4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		[BP] = 0.66	5.0	0.20		-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10		-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.35	5.0	0.50		-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
集合住宅の評価				-		-	
4.1	モニタリング			-		-	
4.2	運用管理体制			-		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	3.3
1 水資源保護			3.0	0.20		-	3.0
1.1 節水		自動水栓・節水型便器を採用	3.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.6	0.60		-	3.6
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		再生加熱アスファルト混合物、再生材料を用いた舗装用ブロック、陶磁器質タイル	5.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		OAフロアの採用	5.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20		-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70		-	
1	消火剤		-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50		-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	3.6
1 地球温暖化への配慮		高効率な設備機器を採用し、CO2を削減	4.8	0.33		-	4.8
2 地域環境への配慮			3.0	0.33		-	3.0
2.1 大気汚染防止		燃焼機器を使用していない	5.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制	評価する取組みが4つ	5.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33		-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	1.00		-	
2	振動		-	-		-	
3	悪臭		-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制			-		-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策	評価の取組み表の評価ポイントが3ポイント、広告物照明を行っていない	4.0	0.70		-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	